



バングラデシユから
右側十名が楽晴会に!!
ちよっとコロナウィルス
でおくれてます!?
(左は学校の先生と
送り出し機関)

理事長、山崎理事が
バングラデシユへ!!
隣は日本の
管理団体の役員

面接が終了し
選ばれた十名。
リハビリも二名います。



外国人技能実習生制度

栄町拠点 拠点長

技能実習責任者 立崎 洋子

令和二年外国人労働者の雇用が決まりました。晴ヶ丘老人ホーム・三沢老人ホーム・岡三沢コロボケアセンター・栄町コロボケアセンター・松原コロボケアセンターの五事業所へバングラデシユから十名の外国人技能実習生が雇用となります。受け入れに当たり事業所毎に雇用管理や、技能実習生が能力を発揮出来るよう適切な人事管理と就労環境を整える為、実習指導者・生活指導員もそれぞれに研修を受け学んできました。

私たちが受け入れる「外国人技能実習制度」は我が国で開発され培われた技能・技術・知識を開発途上国等へ移転することでその国の経済発展を担う人を育てる「人づくり」を目的とする国際協力のための制度です。技能実習の在留資格は六種類に分類されレベルアップできる制度となっています。入国一年目の技能実習生は「一号」とされ二年目及び三年目は「二号」四年目及び五年目は「三号」とされます。「修得」「習熟」「熟達」と活動し、年数毎に技能をレベルアップしていきます。

また技能実習を行う体制が基準に適合するよう事業所毎に監理責任者を選任し、技能実習指導員・生活指導員その他の技能実習に関する職員と共に国の指針に則して技能実習生が日本で安心して働き、その能力を十分に発揮できる環境となるよう対応させて頂きます。

特集 世田谷希望丘のロボット!

移乗サポートロボット Hugger-Lee

昨年六月、世田谷区の介護ロボット助成金で「移乗サポートロボット Hugger-Lee」を導入しました。当時、小柄な女性職員から自分よりも大きなお客様の移乗支援の際の不安や腰痛・膝痛の音が聞かれていました。そこで、介護ロボットの導入と助成金のお話が あった際に、移乗時の負担を軽減できるロボットは無いものか：と東京都の介護機器常設展示やロボット説明会などを参考に職員向けに四社五種類の機器説明と試乗会を行って頂きました。辿り着いたのがHugger-Lee（サンワテクノス社）です。商品名の通り、身体をハグするようにしっかりと包み込んで立位や移乗を補助してくれます。



操作は簡単です。機器の上に覆いかぶさるようにして上半身を乗せ、膝パッドに膝を固定、あとはボタン二つ。操作手順が少なく、女性でも力を入れずに手軽に動かす事ができ、小回りも利きます。現在は、一台なので使用時間の調整や、機器の移動等の問題があり使用できる方が限られてしまっているのが現状です。

導入後は、職員から腰痛や膝痛の声は無くなりました。何よりも驚いたのは、移乗や立位時にバランスを崩しそうな事もあり不安な様子だったお客様自身が自らHugger-Leeに覆いかぶさり「怖くないよ」と使って下さった事です。

導入後は、職員から腰痛や膝痛の声は無くなりました。何よりも驚いたのは、移乗や立位時にバランスを崩しそうな事もあり不安な様子だったお客様自身が自らHugger-Leeに覆いかぶさり「怖くないよ」と使って下さった事です。



更に、導入後数ヶ月でHugger-Leeを使用せずにトイレの手すりにつかまって立ち上がりや「やってみよう!」とHugger-Leeを卒業した方もいらっしゃいます。

「意欲向上」は思ってもいなかった効果でした。

お客様も職員も身体への負担が少なく安心して移乗が行えるように、もっと多くのお客様に使って頂きたいと考えています。

皆さんにも是非触って体験して頂きたい自慢の介護ロボットです。(増田)

インカムを導入

当施設では二〇二〇年一月よりインカムを導入しました。

インカム導入後、ユニット外での連絡、連携が今までよりもスムーズになりました。特に夜間帯においては、勤務している全職員（希望丘コラボケアセンター、トラスト希望丘含む）が、インカムを通じて連携する事が可能となり、緊急対応等においては、今まで以上に効率的に職員同士の連携が可能となりました。日勤帯においても仕事の手を止めずに情報のやりとりができるので、業務効率化に繋がっております。

今後ケアを行ううえで効果的な機材を検討し、安全なケアを維持できるよう努めて参ります。

(武津)

見守りシステム・aams

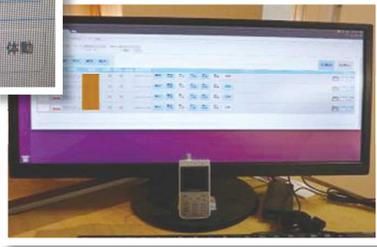
数多くある見守り機器の中で開設当初から各ユニットに設置されている「見守りシステム・aams」を紹介します。使用目的に合わせて設定が可能です。「お看取り対象者」は心拍・呼吸状態を表示すると同時にPHSに連動できるので迅速な対応ができます。

「睡眠状態の観察が必要な対象者」は深い・浅い・覚醒の三段階で記録され、睡眠リズムが分析できるので、夜間睡眠状態に合わせた排泄介助等が可能となります。

職員はもちろん、お客様、ご家族様も安心! 毎日大活躍の「見守りセンサー・aams」です。

入職希望者にはシステムを紹介し、特に夜間勤務中の安心ポイントをアピールしており、人材確保にも一役かかってもらっています。





今後効率よく使用目的別に活用する事で、より質の高いサービスの提供を目指します。
(中村)

地域交流

認知症を正しく理解して頂くため、認知症サポーター養成講座を開催致しました。希望丘団地の「老い支度サロン」のスタッフにご協力をい



ただき、当施設での開催となりました。老い支度サロンの方々を含め、大勢の方の参加がありました。福祉教育の場として、今後も自治会やサロンの方々と連携、協力しながら地域の方々に向けて発信をしていきたいと考えています。

又、隣接する希望丘保育園との交流会も行っています。入居者様と一緒に折り紙や手遊び等を楽しみながら楽しい時間を過ごして頂いております。

ボランティアの方々による演奏会もたくさん行われています。映像と音楽で懐かしい歌謡曲や演歌、映画音楽等を届けてくださるのは近所に住むボランティアの上坂様です。ウクレレの演奏に合わせて歌謡曲や童謡を歌ってくださるのは、ハマ・サン ウクレレの皆様です。フラダンスの披露もあり、希望丘コラボケアセンターやトラスト希望丘からお客様が参加され大変盛り上がりがあります。東京サロンオーケストラの演奏会では、近隣の方々も一緒にクラシックミュージックを鑑賞されました。
(小嶋)

祝

世田谷福祉専門学校入学！

昨年来日したベトナム人留学生三名が日本語学校を経て、世田谷福祉専門学校に入学しました。この一年間、日本語学習を行いながら、世田谷希望丘ホームでリネン交換などの業務を行いました。言葉を学びながらの仕事は、戸惑うことや苦しいこともたくさんあったと思います。その中でも、毎日ひたむきに学び、働き、職員同士の信頼も大きく築くことができました。

今後、世田谷希望丘ホームでの仕事は、より入居者様に密接なものとなります。世田谷福祉専門学校で学ぶ専門的な知識・技術を生かしながら、ケアワーカーとして確かな成長を遂げられるよう、職員一同サポートを行って参ります。

ここで三名の目標を紹介したいと思います。

イエンさん「日本語能力試験N2に合格します。また、介護の特定技能評価試験を受けます。全力で頑張ります。」

ハーさん「お年寄りの介護が出来るように、介護のことを勉強します」

トゥアンさん「介護についてもっと学びたいです。専門学校で日本語だけではなく介護の専門能力も向上させたいです。」

【新しい留学生の紹介】

今春私たちの仲間になる留学生が一名増えます。ベトナム出身のタオさんです(写真最右)。四月から世田谷福祉専門学校へ入学し、世田谷希望丘ホームで働いています。他にも留学生三名をベトナムから受け入れる予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により見合わせとなりました。そのような中でも、タオさんが私たちのもとへ来てくれたのは本当に嬉しい出来事です。(川尻)

タオさん自己紹介

「はじめまして。私はチャン ティフォン タオです。ベトナムから参りました。一年半東京に住んで日本語を学びながら働きました。四月から希望丘ホームで働きます。宜しくお願いします。」



イエンさん、ハーさん、トゥアンさん、タオさん
ご入学おめでとうございます！
これからも一緒に成長しましょう！
(世田谷希望丘職員一同)

県の補助事業で

業務改善!

松原拠点

経緯

私共の仕事は即時に情報共有できるかで、お客様へのサービスに影響を及ぼします。しかしその実態は、手書き記録が80%を占めており、ケース記録、連絡ノート、日誌、関連記録と、同じ内容の重複記録が慢性化していました。

そんな時、記録システムの商品説明会があり、私共が抱えていた問題が全て解決する内容でした。

その時、記録を改善しなければ、未来のケアは語ることはできない、と思うほど強烈に成し遂げたい感情を覚えました。

しかし、反対に新たな悩みも生まれました。それは職員全員がパソコンが得意ではない、と言う問題です。まずはパソコンに慣れるために「医療介護向け音声入力システム」を導入しました。驚くことに「医療介護向け音声入力システム」は自動変換であり、私のタイピングのスピードの十倍の速さで入力できます。

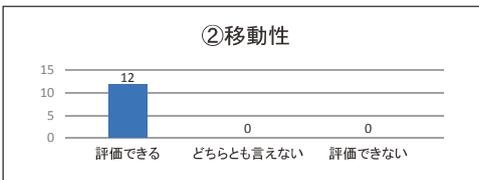
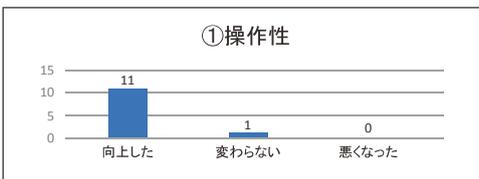
導入

この音声入力システムの導入でお陰で、パソコンに対する苦手意識が克服されたこのタイミングで、記録システムの導入に踏み切りました。

目標は、管理者、相談員、ケアマネ

ICT導入による介護記録等の効率化について

タブレット端末が納品され約1週間が経過し、ノートパソコンでの記録とタブレット端末での記録について、「①操作性②移動性③記録時間」について、サンプリングでアンケート調査を実行した。



- 意見
- ・画面が見やすくストレスが軽減した
 - ・お客様の隣でできるため、時間が短縮できた
 - ・持ち運びができることで、小まめに入力できるので、時間短縮できた
 - ・パソコンのマウス操作が苦手だったので、楽になった

結果・感想

「職員五人…操作指導者一人」という割合で導入チームを編成しました。この操作指導者が日々丁寧な指導を重ね、対象職員全員の操作レベルが満たされたことで、運用開始に至りました。

運用後も日々発

見があり、記録されているか常に監視すること、システムを最大限に活かす方法を模索し続けることを怠らず、運用し十ヶ月経過した現在もシステムの50%程の能力しか活用できていないと思っています。

そして、令和元年度青森県介護事業所ICT導入支援モデル事業を十月に申請し、決定通知を頂き、補助金を活用しタブレット端末を六台追加するこ

とができました。ノートパソコンとタブレット端末との比較を職員にサンプリングでアンケートを実施した結果はグラフの通りです。

更に待望であった見守り支援システム(介護ロボット)と記録システムとの同期がこの春に実現に至るとのことです、見守り支援システムの反応が自動で記録システムに記録されることになり、より効率的になります。

最後に、記録システム導入で多様なシステムは独立しているのではなく、それらの中心には記録システムがあることが分かりました。つまり、記録システムと他のシステムが繋がるということが大事だということです。

(吉田)



エイトドア



株式会社エイトドア
代表取締役
下田 静香 様

昨年九月に下田代表が創立した株式会社エイトドアと、効果的な人材育成や組織運営について、相談・助言をされるサポート業務に関する委託契約をいたしました。

中小企業である当会の弱点の一つの人事面や人材育成面についてサポートしていただきます。

- 「主なテーマ」
- ・定年六十五歳延長・退職金見直し
 - ・手当全般の見直し
 - ・給与表復活
 - ・キャリアパス制度改正
 - ・教育制度見直し など

下田静香代表は八戸市鮫町出身。

社名の由来は、「eight (八)」 + 「door (戸)」で「八戸」。社名を名乗ることで、全国に八戸を知ってもらいたいことからとのこと。事業は医療福祉分野での人材育成の研修や講演、コンサルティングです。複数のコンサルティング会社を検討しましたが、医療・介護現場をご存知のために選考しました。

(齊藤)

部門別採算制の行方！ マスタープラン

当会でアメンバー経営を導入してから十年が過ぎました。アメンバー経営では毎年二月頃が次年度マスタープラン（年度計画）の作成時期となっております。各部門が独自に次年度の総サービス提供高（売上高）、経費、労働時間などの計画を月毎に具体的な数字で組み立て、計算根拠も合わせて提示し、マスタープランヒアリング会議にて説明を行います。なお、マスタープランの内容が次年度予算や事業計画に直接反映されるため、二日間に渡り時間をかけて各部門からの説明と理事長による承認が行われます。そして、承認を得たマスタープランが各月のアメンバー資料で用いられ、当初計画に対しての実績進捗状況が月例マネジメントレビュー会議にて発表されます。これを繰り返すことにより各部門での採算意識が向上し、経営数値の改善にも繋がっております。

二〇一九年度はマスタープランの総サービス提供高目標値を二十六億三千六百三十七万円としておりましたが、決算後の確定値は二十四億五千万円前後になると予想しております。特に近年は職員の採用が非常に困難となっており、人材紹介会社や派遣会社に高い報酬をお支払いせざるを得ない状況です。また、職員不足の影響で現状フル稼働ができて



いない施設も存在しており、目標としていた総サービス提供高達成に大きく影響しております。

そのような現状に立ち向かうため、今回のマスタープランヒアリング会議では加算算定、定員変更、新規サービス、ICT・RPAの導入、そして職員採用方法の案など多岐に渡り様々な提案がなされ、結果として次年度マスタープランの総サービス提供高は二十八億四千二百七十七万円（前年度マスタープラン比107.8%）となりました。

当会はアメンバー経営を導入した二〇一〇年から見ますと十年連続で増収となっております。次年度も更なる増収を目指し、残った利益をお客様、職員、そして地域の方々へ還元できるような目標達成のため邁進していきたいと思っております。

（下田）

令和二年度 入社式

令和二年四月一日、楽晴会学習センターに於いて、今年度の入社式が執り行われました。新型コロナウイルスの影響により、例年より規模を縮小しての実施となりましたが、今年度は八名の新入職員を楽晴会に迎えることが出来ました。

入社式は山崎理事の開式のことばに始まり、全員による社是の唱和、理事長あいさつの後に、渡辺理事より新入職員が紹介され、辞令が交付されました。

緊張の面持ちの八名でしたが、先輩職員である三沢老人ホーム・大澤美登里さんの実体験を交えた歓迎のことばで、少し表情が和ら



いだようでした。

新入職員を代表しての、東萌子さんの誓いのことばからは、常に学ぶ姿勢を忘れずに多くの知識と技術を身につけ、楽晴会に貢献したいという強い決意が感じられました。

最後に米内山常務理事より祝辞が述べられ、入社式は無事に幕を閉じました。



研究発表決勝戦

令和二年四月十六日(木) 楽晴会法人本部会議室において、青森県立保健大学 社会福祉学科准教授 石田 賢哉様を審査員長にお迎えし、無観客で令和元年度 第十四回職員研究発表大会を開催いたしました。

厳正なる審査の結果、各賞については以下の通り決定いたしました。

●研究発表の部

【最優秀賞】

● 緑ヶ丘児童デイサービスセンターひかり・緑ヶ丘発達支援センターひかり
「リズム運動プログラム〜音楽を療育に取り入れ、発声や発語を促す」

【審査員長賞】

● 三沢デイサービス
「寄り添いケアって？」
「ユマニチュードを用いて」



【優秀賞】

● 三沢老人ホーム
「元気なあいさつで笑顔になれる」
● 松園デイサービス・スカイ
「CSTによる認知的働きかけ」

● はるが丘デイサービスセンター
「目標を達成する為の記録の定着ケアの統一お客様と職員の笑顔のために」

【部門責任者以上特別課題 最優秀賞】
小泉 久美子 松園拠点 拠点長
松園ケアラウンジ・スカイ施設長

●個人賞の部

【新人賞】

畑山 幸子 (cafe42)

【ルーキー賞】

神 智仁
小泉 美智子
若崎 奏恵
(療育・障害者相談センターボイス)
久保田 憲道
(堀口児童デイサービスセンターひかり)

【最優秀ルーキー賞】

川尻 喜一 (世田谷希望丘ホーム)

【優秀職員賞】

吉田 厚子
(ホームヘルパーステーション青空)

【サブリーダー賞】

山田 大文 (岡三沢ぬくもりの家)

【部門責任者賞】

平澤 由加里

(はるが丘デイサービスセンター)

●アメーバ賞の部

【拠点長賞】

駒井 朋子 (晴ヶ丘拠点 拠点長)

【アメーバ大賞】

三沢訪問看護ステーション

【アメーバ賞】

松原ぬくもりの家

【京セラ賞】

世田谷拠点

【理事長賞】

訪問入浴サービスステーション青空

各賞受賞の皆様おめでとうございました。(鞆川)



令和元年度表彰受賞者

《全国老人福祉施設協議会会長表彰「感謝」(勤続15年以上)》

三沢老人ホーム 川村 夏子
晴ヶ丘老人ホーム 月館 健司・米内由利子
松園ケアラウンジ・スカイ 小泉久美子・久保田キヨ
はるが丘デイサービスセンター 山本久美子
ホームヘルパーステーション青空 須藤 律子
※右記の方々は、青森県老人福祉施設大会に於いても「功労表彰」を受賞しております。

《三沢市民福祉大会表彰(勤続15年以上)》

本部事務局 福士 美雪
晴ヶ丘老人ホーム 中村ひとみ
三沢老人ホーム 笹倉 悠史・田中 恵子
岡三沢コラボケアセンター 三村 弘子
松原コラボケアセンター 小泉由紀子・向谷地 憲
障害者就労トライアルセンターボイス 児玉 陽子

《三沢市優良従業員表彰》

晴ヶ丘老人ホーム 高松 祥子・鎌本 純子
三沢老人ホーム 前田 由貴・會田美智子・葛巻せつ子
菊地美穂子・松橋恵奈子・工藤奈保子
三沢デイサービスセンター 種市 敬子・宮古 豊子
小泉真喜子・尾崎マリ子
大和ジュン・柴山 充

はるが丘デイサービスセンター 竹本 精子・松橋恵美子・根岸 典子
グループホームはるが丘 中村 康子
松園ケアラウンジ・スカイ 蛭沢 与志・山本かつ子

松園デイサービス・スカイ 増井 敦子・井嶋 絹枝・佐々木里子
岡三沢ぬくもりの家 大野 信子・金堀 静子
栄町ぬくもりの家 嶋野由栄子・二ツ森牧子
栄町コラボケアセンター 川村 直子・北川 純子
ホームヘルパーステーション青空 吉田 厚子
訪問入浴サービスステーション青空 三浦 千秋・堀 恵子

松原ぬくもりの家 大柳 君子・二又 晴弥
松原コラボケアセンター 輪達実由紀・松村 康子・平木 恵子
シニアライフ 大津 吉田都都子
障害者就労トライアルセンターボイス 小笠原国男・太田みどり

2019年度ボランティア受入状況
2019年12月～2020年3月(延べ人数)

拠点名	事業所名	個人	団体	計
晴ヶ丘	晴ヶ丘老人ホーム	0	13	13
	はるが丘デイサービスセンター	18	3	21
	グループホームはるが丘	1	0	1
三沢	三沢老人ホーム	36	25	61
松園	松園ケアラウンジ・スカイ	12	150	162
	松園デイサービス・スカイ	13	8	21
岡三沢	岡三沢ぬくもりの家	12	20	58
	岡三沢コラボケアセンター	26		
栄町	栄町ぬくもりの家	56	104	160
	栄町コラボケアセンター			
松原	松原ぬくもりの家	4	0	4
	松原コラボケアセンター	26	0	26
大津	シニアライフ大津	2	29	31
緑ヶ丘	緑ヶ丘児童デイサービスセンター	27	0	27
車返団地	車返コラボケアセンター	3	0	3
	車返デイサービス・スカイ			
世田谷	世田谷希望丘ホーム	67	5	72
	トラスト希望丘	45	0	45
その他				0
計		348	357	705

《福祉教育》

(令和元年十二月～令和二年三月)
(実習生・小中学校受入れ・講演等)

三沢デイサービス

一月二十九日～三〇日

デイスパッチカレッジ青森校 一名

(介護福祉士実務者研修 医療的ケア)

三月二十五日～二十六日

八戸市社会福祉協議会

八戸福祉人材バンク 一名

(福祉施設職場体験)

行政活動取り組み

(令和元年十二月～令和二年三月)

三沢地域ケア会議(月一回)

三沢介護支援センター

中平・上殿・赤沼・鹿内・三瓶

岡三沢コラボケアセンター

松園グループホーム

介護認定審査会(月二～三回)

齊藤・佐々木(美)・中平・駒井・

山崎

上十三障害者区分認定審査会

(月二回)

就労トライアルセンターボイス

中嶋 優介

【講師派遣等】

令和元年度

介護ロボットあおもりフォーラム

青森県社会福祉協議会主催

一月十六日

松原コラボケアセンター

吉田 薫明

介護保険事業計画の着実な実施に向けたアドバイザー派遣事業

一月十七日

三沢介護支援センター 中平 智弘

・ケアプラン点検、その他

令和元年度

介護支援専門員協会実務研修

実習指導者養成研修

二月四日

三沢介護支援センター 中平 智弘

・実習受入のためのスーパービジョンについて

三沢市子ども・子育て会議

大町児童デイサービスセンターひかり

外山 ルミ

・第二期三沢市子ども子育て支援会議(案)について

三沢市企業の魅力発信動画撮影協力

一月十七日

岡三沢コラボケアセンター

吉田 幸恵

法人本部

橋本 聖樹

三沢市障害者支援協議会

就労トライアルセンターボイス

中嶋 優介

小笠原 麻衣子

一月二十一日

・児童(市内事業所職員向けの研修会の振り返り)

・就労(アンテナショップ、農福連携の検討)

・相談(三沢市地域拠点整備事業の取り組みを検討)

二月十八日

・児童・就労・相談各部会の次年度取り組みを検討

三沢障害者支援協議会 子ども部会

一月二十一日・二月十八日

大町児童デイサービスセンターひかり

外山 ルミ

・部会の周知と発達相談のための広報誌の作成について

地域運営推進会議

一月二十二日

松園グループホーム

・松園グループホーム状況報告、行政担当連絡、運営委員より提案

三沢市保健センター発達相談事業評価

二月十三日

大町児童デイサービスセンターひかり

外山 ルミ

・三沢市保健センターが行っている
発達相談事業の実施状況や評価・
課題について従事者として参加

生活困窮者自立相談窓口支援調整会議

二月十四日

晴ヶ丘老人ホーム 月舘 健司

・自立相談窓口で相談受付を行った
対象者の支援プラン等の協議

第三回三沢市移動等円滑化促進協議会

三月二十三日

就労トライアルセンターボイス

中嶋 優介

・市内（市役所半径1km範囲内のパ
リアフリー化及び三沢空港、三沢
駅駐車場からのアプローチのバリ
アフリー化のマスタープラン作成
にかかるとの協議）

各拠点日報

〔令和元年十二月〜令和二年三月〕

十二月五日 介護部会研修会

映画「ケアニン」上映会

十二月六日 晴ヶ丘拠点

十二月誕生者の外食（匠家ラーメン）

十二月七日 栄町拠点

餅つき会（緑ヶ丘・堀口児童拠点・
三沢第五中・かしわ会）

十二月七日〜九日 松原拠点

お仕事説明会

十二月九日 理事会

十二月十一日

老人ホーム家族会忘年会

十二月十一日 松原拠点

木崎野小学校交流会

十二月十一日 岡三沢拠点

もちつき会

十二月十一日 大津拠点

たけのこ保育園ふれあい交流会

十二月二十日 堀口拠点

望年会（生活介護、B型、移行支援
利用者の慰労会）

十二月二十一日 松園拠点

松園合同餅つき会

十二月二十一日 松原拠点

餅つき会

十二月二十四日 栄町拠点

クリスマス会（認定こども園ふるま
ぎの里児童との交流会）

十二月二十五日 大津拠点

もちつき会

一月五日 大津拠点

お楽しみ昼食（モスバーガー）

一月八日 晴ヶ丘拠点

ホーム新年祝賀会

一月十七日 栄町拠点

初釜「田中宗治先生を迎えて」

一月二十一日 大津拠点

セブンイレブン 訪問販売

一月二十一日 介護部会研修会

外部講師を招いての研修会

「介護過程の理解」について

一月二十二日 大津拠点 初釜

一月二十七日 研究発表予選会①

一月二十八日 晴ヶ丘拠点

一月誕生者の外食（かつば寿司）

一月二十九日 大津拠点

トマト衣料館様 訪問販売

一月三十日 松原拠点 喫茶の日

一月三十一日 栄町拠点

ぬくもりの家「ミニ運動会」

一月三十一日 大津拠点

音楽レクリエーション

二月三日 晴ヶ丘拠点

節分withバレンタイン

二月三日 研究発表予選会②

二月十日 研究発表予選会③

二月十日 介護部会研修会

「ノーマルフットケアの目的・必要性の
理解、技法を学ぶ」

御寄贈御礼

〔令和元年十二月〜令和二年三月〕

青森ヤクルト販売株式会社 様

●車椅子 二台

（晴ヶ丘拠点・栄町拠点へ）



光昌寺 様

●お菓子・もち 30 kg

●お団子 3.5 kg

高橋 鉄蔵 様

●長いも 12 kg

●ごぼう 10 kg

株式会社 コンドウ

代表取締役 近藤修平 様

●消毒用エタノール



ありがとうございました

編集後記

新型コロナウイルスの影響によ
り、今号に掲載いたしました行事
等も例年に比べて規模の縮小や会
場の変更を行ったものが多くあり
ました。

「普通に生活できること」の有難
さを改めて実感する日々です。

（苦米地）

福祉の歴史も結核の療養などが
百年前くらいにありました。我々
も持てる力を尽くします。（齊藤）